

■米国：米国人の45%はお金を払ってでも停電回避を希望

2012年5月11日付の業界紙によると、調査会社が2012年4月に実施した全米の500人以上を対象とした調査で、回答者のうち45%が「停電を4時間以内に回避できるのであれば1カ月当たり10～40ドルの追加費用を支払う」と回答している。また、25%が「異常気象でないならば停電は発生すべきでない」と回答し、「1,000ドルもらっても2日間の停電は耐えられない」と回答した人は33%に達した。この報道では「事業者および規制当局は現在の供給信頼度を維持しなければならないというプレッシャーをかけられており、そのプレッシャーはますます強くなってきている」と報じている。